



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

令和 3年 1月 29日

横浜市立釜利谷南小学校

2月号

校長

田中 さくら

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

如月 1年前を振り返ると…



大寒を過ぎてもまだまだ寒い日が続きます。来週から2月に入ります。2月は「如月」この旧暦の月の呼び名を学校便りでお伝えするようになってちょうど一年が経ちます。1年前の学校便りでは、土曜授業参観や書初め展に来校いただいた保護者の方へのお礼、金沢区個別支援学級合同学習発表会の報告、スタディフェスタについてなどを書いていました。しかし、今年は、それらの行事は、コロナ禍ですべて実施できなくなりました。

一年前に、この2回の緊急事態宣言を、誰が予想できたでしょうか。当初、新型コロナウイルスはそこまで怖いものだとは考えられていませんでした。WHOや研究者も「簡単には感染しない」とみていたほどです。しかし今では、全世界に感染拡大し、アメリカで死者40万人、イギリスでは3回目のロックダウンとなっています。日本ではワクチン接種は6月からというニュースも入ってきています。

学校生活も一変してしまいました。グループ学習や歌唱等は、規制がかかりました。何でもできる当たり前の学校生活が、どんなにありがたいことだったかと今更ながら思います。しかし現在、緊急事態宣言下でも、学校は休業をしていません。それは、子どもたちの学びを止めないためです。マスクをしていてもディスタンスをとっていても、規制が多い中でも、毎日子どもたちが学校に来てくれるだけで、私たち教職員は、幸せだと感じています。どうか学ぶことの楽しさを 友達と関わることの楽しさを味わってほしいと思います。そして今は、継続する力より、対応する力、柔軟性が重視される時です。様々な変化にも後退せずに、前に進めるよう、柔軟に対応できるよう、いつも落ち着いた安心できる学校環境を整備していきたいと思えます。これからも保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「マスク会食」から「黙食」へ

1月末は給食週間でした。子どもたちの大好きな「とんかつ」や霜降り牛肉の「すき焼き風煮」「セルフおにぎり」や「すいとん」等の特別メニューもあり、休み時間には給食クイズラリーを個人一人ひとりで楽しみました。今、子どもたちの机は前を向いたままで、静かに黙々と給食を食べています。グループでの楽しい会食もおかわりじゃんけんでの盛り上がりもありません。でも全校の残量もほとんどなく、よく食べて、調理員さんや栄養士の先生を喜ばせてくれています。テレビニュースでは、マスク会食から「黙食」が推奨されるようになってきており、飲食店によっては、黙食してくれたお客さんには、サービスの特典をつけているところもあると聞きました。

今年の節分は2月2日です。「節分の夜に恵方に向かい、願い事を思い浮かべながら、言葉を発せずに最後まで一気に食べると願い事が叶う」とされている恵方巻ですが、日頃から黙食がしっかりできるので、釜利谷南小の子どもたちは、みんな願いが叶いそうです。

新しい生活様式になって、守らなければならないルールとは別に、相手のことを考えるマナーも大事です。不便だったり、窮屈だったりするだけでなく、相手を思いやるマナーが身に付いたと思えば、悪いことばかりではありません。新型コロナウイルスに、いつ誰が感染してもおかしくない状況です。これからも相手を思いやる気持ちやマナーを忘れないで、過ごして行ってほしいと思います。

